

RT.2 簡単スタートアップガイド

アールティーツー

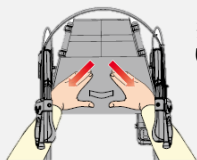


Certification for Products
in accordance with
ISO 13482

JQA-KC16003

1 車体を展開しましょう

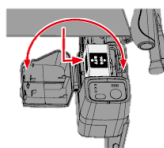
- ・ ハンドルをしっかりと持ち、ゆっくりと左右に広げてください。
- ・ その後、座面両端部をゆっくりと押し下げてください。
- ・ 車体が完全に展開されていることを確認してください。



※指や衣服を挟まないよう注意してください。

2 バッテリーを取り付けよう

- ・ バッテリーボックスのふたを開け、バッテリーを取り付けてください
- ・ 取り付けるときは、右側に水平にスライドさせてください。バッテリー上面に「つける」と→がある方向にスライドください。



※満充電でおおよそ連続走行4時間可能
※バッテリーボックスのふたは必ず閉めて、お使いください。

3 ハンドル高さを合わせよう

- ・ 歩行器の高さを身体にあわせてください。72.5～85cmの6段階（2.5cm刻み）で調整可能です。
- ・ ハンドル高さを計算する方法として「身長÷2+3cm」が良いとされています。
- ・ 例えば、身長159cmなら「82.5cm」となります。

※円背などの前傾姿勢の人は、前傾のままの身長で測ってみてください。

4 電源を入れよう

- ・ バッテリーボックスにある「電源」ボタンを押すと、パネルにあるバッテリー残量が点灯します。



※人の動きや力の強さをセンシングするセンサーが右ブリップ部についています。
※5分間何も操作していなければ、自動的に電源オフとなります。

さあ、
新しい歩行体験を
実感してみよう！



6 声でアシスト聞いてみよう

- ・ 声でもアシスト、おしゃべり機能が付いています。
- ・ こんな時におしゃべりしてくれます。

- ①歩いた距離（電源オフ時）
- ②急な斜面での注意喚起
- ③転倒時（最大音量で転倒通知）
- ④休憩提案（30分歩いた時に）
- ⑤バッテリー残量が少なくなった時
- ⑥前輪が地面から浮いた時

5 アシスト・ブレーキ・速度を設定しよう

- ・ 身体機能や使用環境にあわせて、アシスト・ブレーキ・速度をそれぞれ4段階（1～4）で強弱つけることが出来ます。
- アシスト…平地・上り坂でのアシストの強さを調整できます。
- ブレーキ…下り坂でのブレーキの強さを調整できます。
- 速度…上限速度を調整できます。設定した上限速度を越えるとブレーキが掛かります。スピードを抑える（抑速）機能です。
- ・ はじめの設定は、アシスト3（弱いアシスト）・ブレーキ3（やや強いブレーキ）・速度（時速4.5kmを感知するとブレーキがかかる）となっています。



設定の方法など詳しくは裏面をご覧ください。簡単に出来ますよ。

▶ Play Movie

RT.ワークス株式会社 動画サイト

* QRコードをご使用されない方はこちらから <https://goo.gl/381WIH>

QRコード



RT.ワークス株式会社

アシスト・ブレーキ・速度の設定をやってみよう！

身体状態・疾病別 設定例

代表的な状態像に応じたアシスト・ブレーキ・速度の設定例となりますが、実際の利用者のアセスメントを実施した上で設定・フィッティングを行ってください。

■パーキンソン病やパーキンソニズムなど歩行障害がある人

アシスト 2～3
ブレーキ 3～4
速度 1

■リウマチや頸部脊柱管狭窄症などにより、手の痺れ痛みがある人

アシスト 3
ブレーキ 2～3
速度 2～3

■脳卒中による麻痺や椎間板ヘルニア、脊髄損傷などで麻痺や痺れがある人

アシスト 2～3
ブレーキ 3～4
速度 2～3

■加齢による足腰の衰えが見られる人（大きな病気なし）

アシスト 3～4
ブレーキ 1～2
速度 3～4

■変形性股関節症が原因で人工股関節置換術し、可動域制限のある人

アシスト 2～3
ブレーキ 3～4
速度 1～2

※速度設定は、普段歩行されている速度より少し高め速度に設定しお使いください。
低い設定にすると常にブレーキが掛かった状態になってしまいます。
※日内変動等で状態が不安定な方は、良くない状態時の設定でお願い頂くと、より安心して歩行が出来るかと思います。

上記の身体状態に合わせた設定にプラスして、使用環境も考慮してもらうと、更に安心安全に歩行してもらうことが出来ます。

使用環境に合わせて調整

■坂道が多い環境で使用する人で

○上りを快適に歩行したい場合

アシスト 上記設定に+1

○下りを安心して歩行したい場合

ブレーキ 上記設定に+1

実際に設定を変更してみましよう！

初めてお使いの方へ

まずはそのままの設定でRT.2をお試し下さい。

工場出荷状態では、RT.2のアシスト制御を体感して頂きやすい設定となっております。

○工場出荷状態○

「アシスト」「ブレーキ」→4段階中の3番目の強さ（1番強い設定より1段階弱い）

「速度」→4段階中の3番目の上限速度設定

（1番強い設定より1段階弱い、4.5km/hの上限設定）

